

漢詩を書く(5)

締切り 十月二十四日(必着)

我心本如月
月亦如我心
心月兩相照
清夜長相尋

奥村憲照先生書

◎作品創りの第一歩として、漢詩を題材に小品を書いてみましょう。書体・構成は自由です。
◎まずは、用紙に対してのバランス、行間・字間、行の中心などを整えて書くことが大切です。

山中月

真山民

我愛山中月

我は愛す山中の月

炯然掛疎林

炯然として疎林に掛かるを

為憐幽独人

幽独の人を憐むが為に

流光散衣襟

流光衣襟に散ず

我心本如月

我が心本月の如く

月亦如我心

月も亦我が心の如し

心月兩相照

心と月と両つながら相照らし

清夜長相尋

清夜長えに相尋ぬ

※後半の四行を書いて下さい。

◎作品の出し方

▼硬筆部ⅡB5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)

▼毛筆部Ⅱ半紙に書いて下さい。筆ペンも可です。

▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬・毛のどちらか一方に限ります。

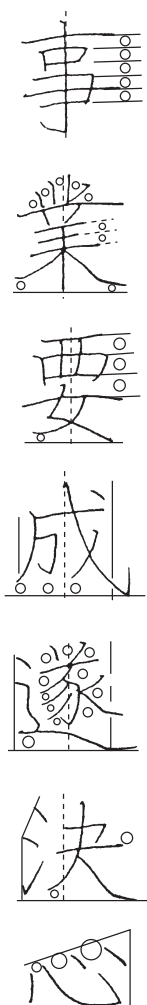
▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

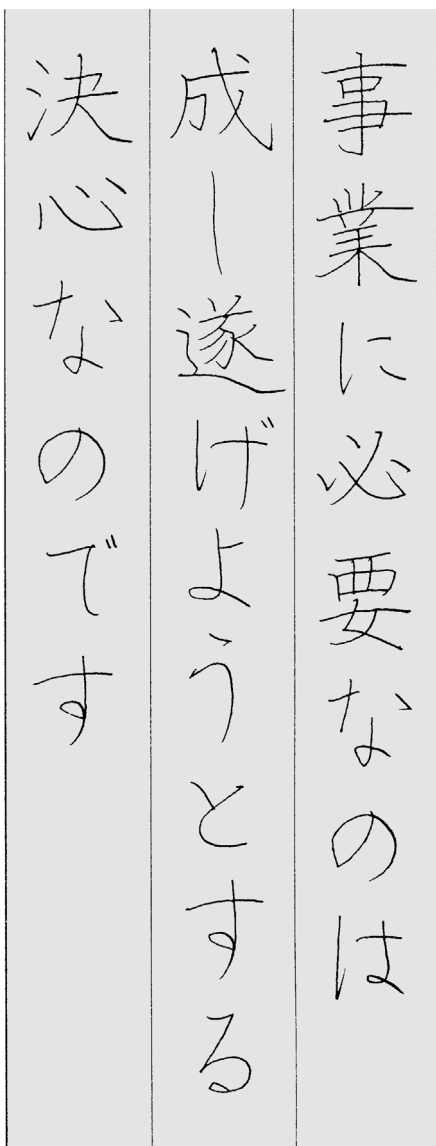
準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕



楷書は特に文字の形を整えることが大切(間架結構法)
 ▶教範・書範は右課題を「行草または草書」で、師範は「行書」で出書して下さい。

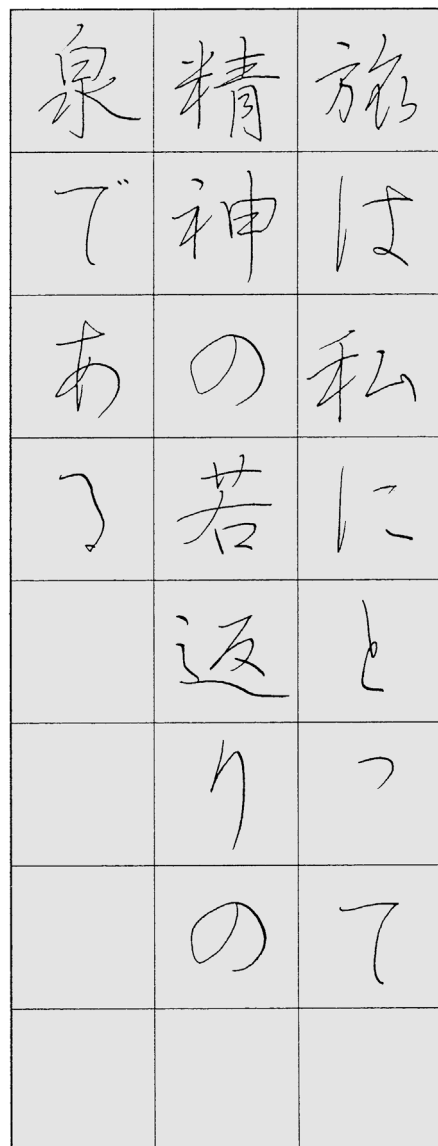
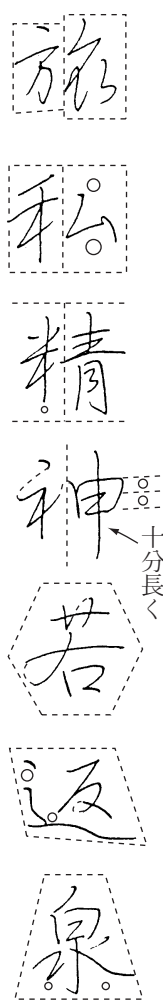


おか だ りゅう ほう 書
 岡 田 龍 芳 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



おお たに せい じょう 書
 大 谷 清 城 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

- ◆11月課題予告(行草または草書)
 智者も千慮に一失あり
 愚者も千慮に一得あり
 史 記
- ▼教範・書範Ⅱ行書
- ▼師範Ⅱ楷書

★事業…(書体Ⅱ楷書)
 ブルワー・リットン(一八〇三〜一八七二)
 イギリスの作家・政治家
 物事をなし遂げるには、それを実現するための知識や経験、技術も必要ではありますが、それよりも大切なのは、絶対になし遂げるのだという強い意思、信念だといっています。わが国でも「精神一到何事か成らざらん」という同義の名言が知られています。

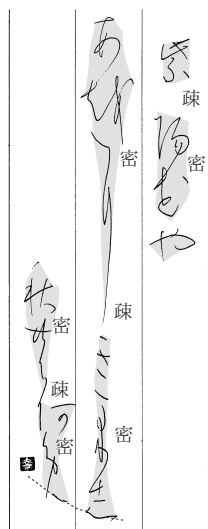
◆11月課題予告(楷書)
 始めた人は
 事を半分
 終えている

★旅は…(書体Ⅱ行書)
 アンデルセン(一八〇五〜一八七五)
 デンマークの作家
 旅から旅への生涯を送ったアンデルセンのことば。
 「総じて未知なるものとの出会いは、気持ちに張りを与え、精神を活性化させる。自分はこれまで数知れぬ旅を重ねてきたが、老境に差しかった今でも旅に出ると心はずみ、青年のごとく若々しくなった心地がするのである」

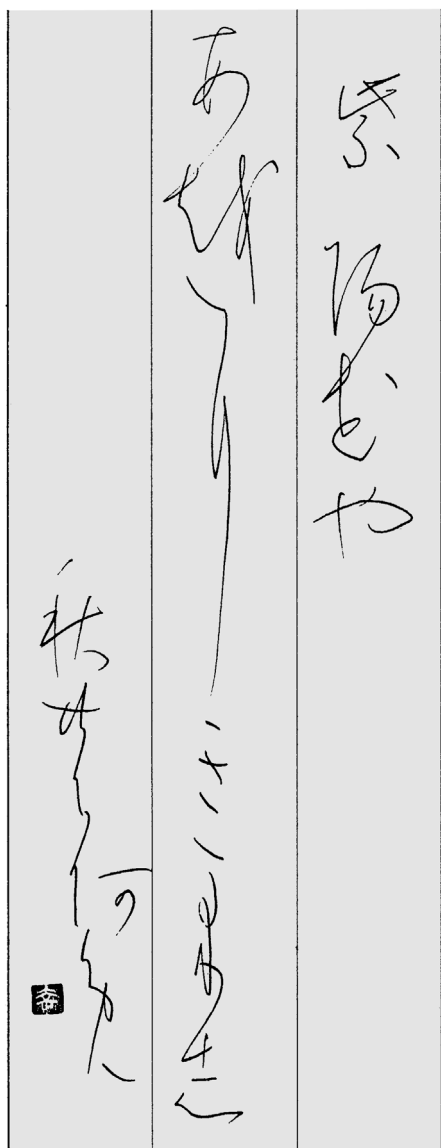
準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕



紫陽花や青にきまりし秋の雨
あぢきあめ
萬利志 農阿免



おぎ 荻 田 蒼 仙 書

▷用具=自由(黒色に限る)

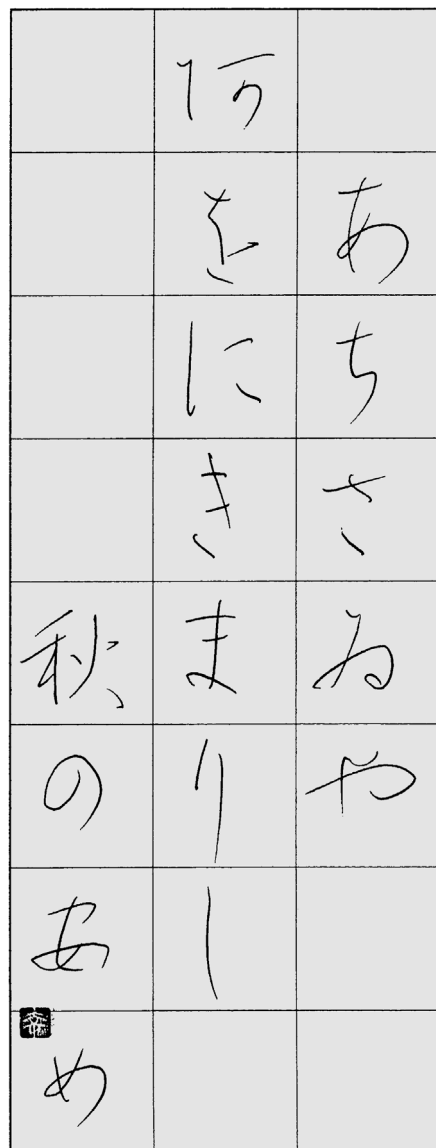
▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



紫陽花や青にきまりし秋の雨
あぢきあめ

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。



おぎ 荻 田 蒼 仙 書

▷用具=自由(黒色に限る)

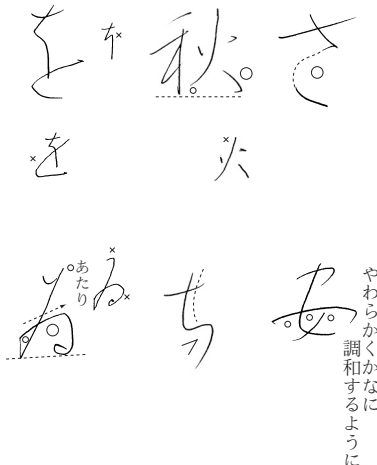
▷用紙=本会級位用紙

紫陽花や青にきまりし秋の雨
あぢきあめ
(子規)

〔句意〕紫陽花に降る秋の雨の句。青っぽくなった雨の色に、作者はそこはかとなく秋の情趣を感じ取った句。

〔級位ワン・ヒント〕

この句は「あ」が多すぎて困りました。それは同一字形、同一運動は避けるのが常識だからです。私の未熟さから作品になっていません。せめて柔らかく持ってペン圧を軽く、ハリのある線の追求をめざして下さい。研修会での講師の書きぶりを見て学ばれますように。



〔段位ワン・ヒント〕

作品に変化、反応、調和等：より高い作品づくりに変体かなの存在はありがたいものです。古人の偉さに敬服するのみです。連綿の種類

- ①中心法：中心が揃うように。
- ②中心移動法：中心をはずして移動。
- ③短縮法：字間を縮める。
- ④直結法：前の字の一画を次の字の一部として続ける。
- ⑤傾斜法：字を傾けて続ける。
- ⑥意連：続けてはいないが気脈が通じている。

(草心会誌より)

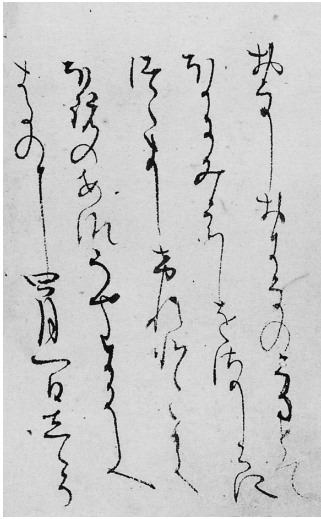
◆11月課題予告

漁火の見ゆる一間に湯ざめかな
いさりび ひとま

(池内たけし)

〔古筆参考〕

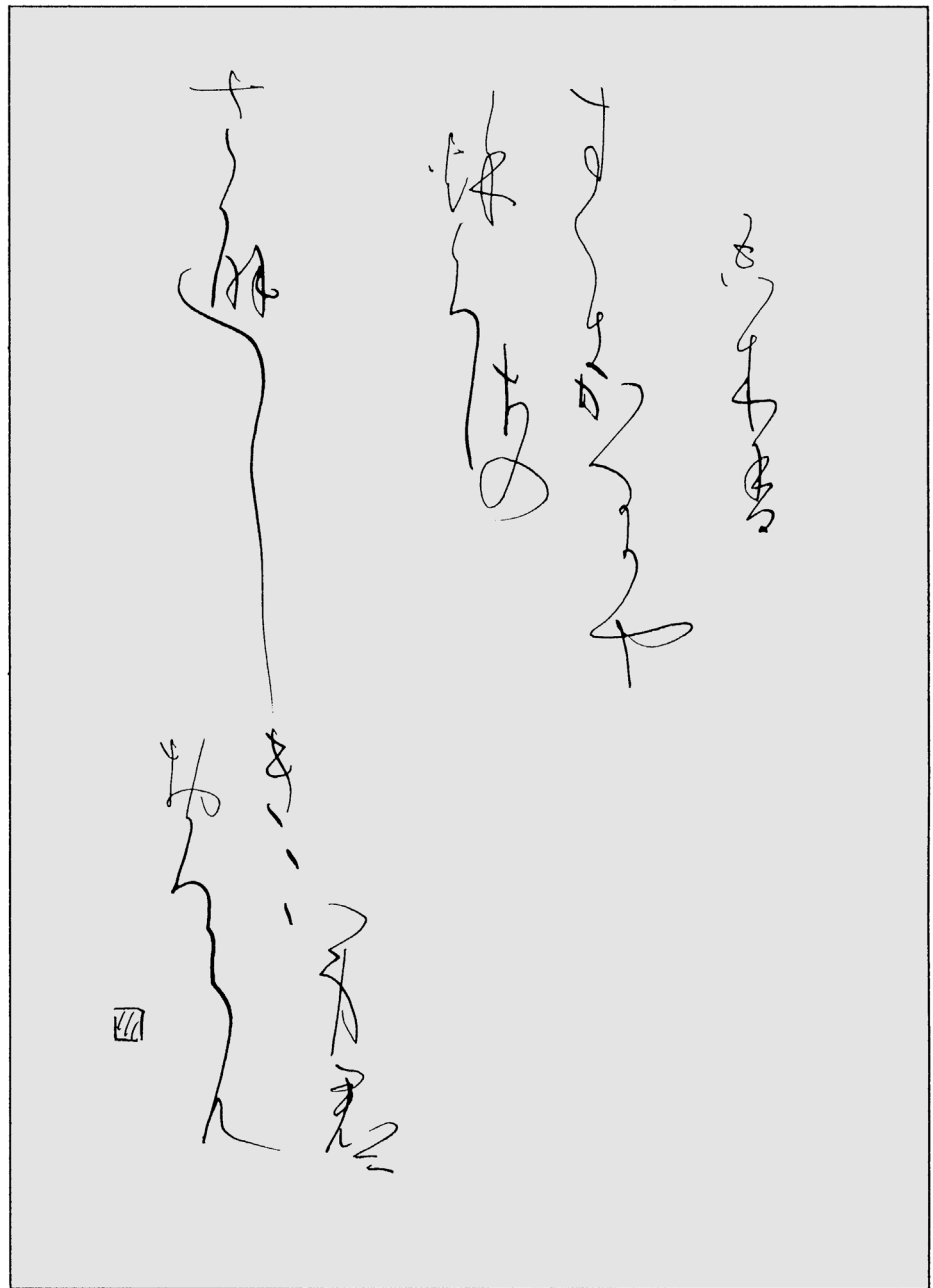
一条摂政集



おなじおきなうたとて
本可尔支奈
ほかにみえしを、さかしらに
徒希登
つゝましけれど、
本院の女御うせたまうて、
またのとし、四月一日、じごう

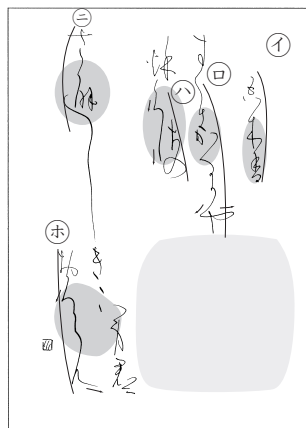
締切り 十月二十四日（必着）

築瀬舟香書



吾木香すきかるかや秋草のさびし
きはみ君におくらむ
〔歌意〕 吾木香の花や薄や刈萱など、
さびしい秋の花の中でも最も寂しいこ
れらの草花をあなたに贈りましょう。
〔出典〕 名歌即訳 若山牧水

〔解説〕



- ①と②、③と④、⑤と⑥、⑦と⑧、⑨と⑩、それぞれ呼応。
- ・疎密の動き。
- ・大きな余白↓間。
- ・の方向注意

疎密の移行

一条摂政集の疎密の移行は密で高まっている隣の行もさらに高まりを作っていて、その逆に疎も密の時と同様に疎としての面を作っているのが特徴です。ペン字作品の中にも必ず一行二行で密になる面と疎になる面を作る事が作品の中に景色を作る為の重要なテクニクなのです。

◆11月課題予告

ふるさとの尾鈴の山のかなしさよ
秋もかすみのたなびきて居り

（若山牧水）

締切り 10月24日(必着)

ご出産おめでとう。お二人念願の女の子で、この上ない幸せですね。天使のような写真を拝見し、私もうれしくなりました。些少ながらお祝いにベビー服をお贈りします。次は男の子が授かるといいね。

ご出産おめでとう。お二人念願の女の子で、この上ない幸せですね。天使のような写真を拝見し、私もうれしくなりました。些少ながらお祝いにベビー服をお贈りします。次は男の子が授かるといいね。

◎手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

おか じま けい せん
岡 嶋 桂 川 書

グランドキャニオンは、コロラド川によって刻まれた巨大峡谷である。

京都府綾部市 氏 名

※手本は、つけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 10月24日 (必着)



〔出典〕孔子廟堂碑（626～633）〔筆者〕虞世南（558～638）
 〔読み〕^{かんなん}艱難を（弘済し、）^{へいいつ}区字を平書す。



〔読み〕秋天萬里淨し。
 〔大意〕秋の空は、どこまでも清く澄んでいる。

準初段から師範まで
 奥村暢之臨

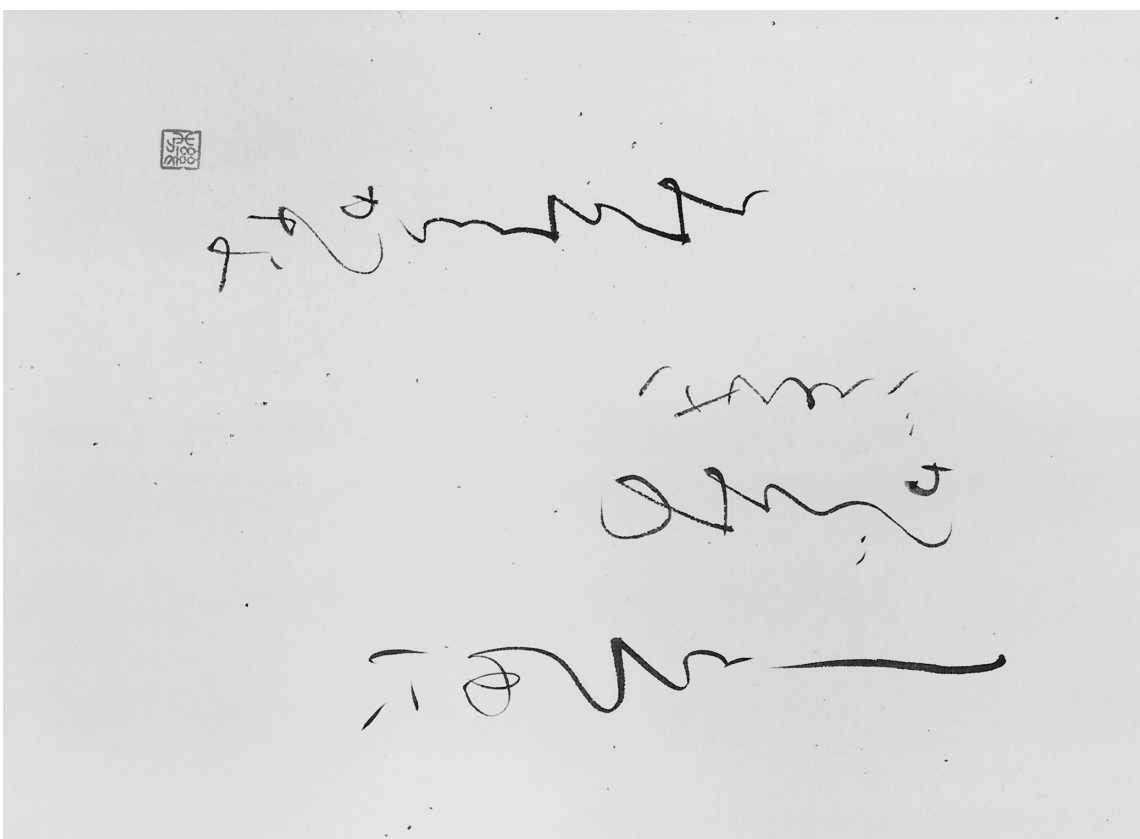
新入から1級まで（行書）
 澤静雨書



一般部毛筆かな課題

締切り 10月24日 (必着)

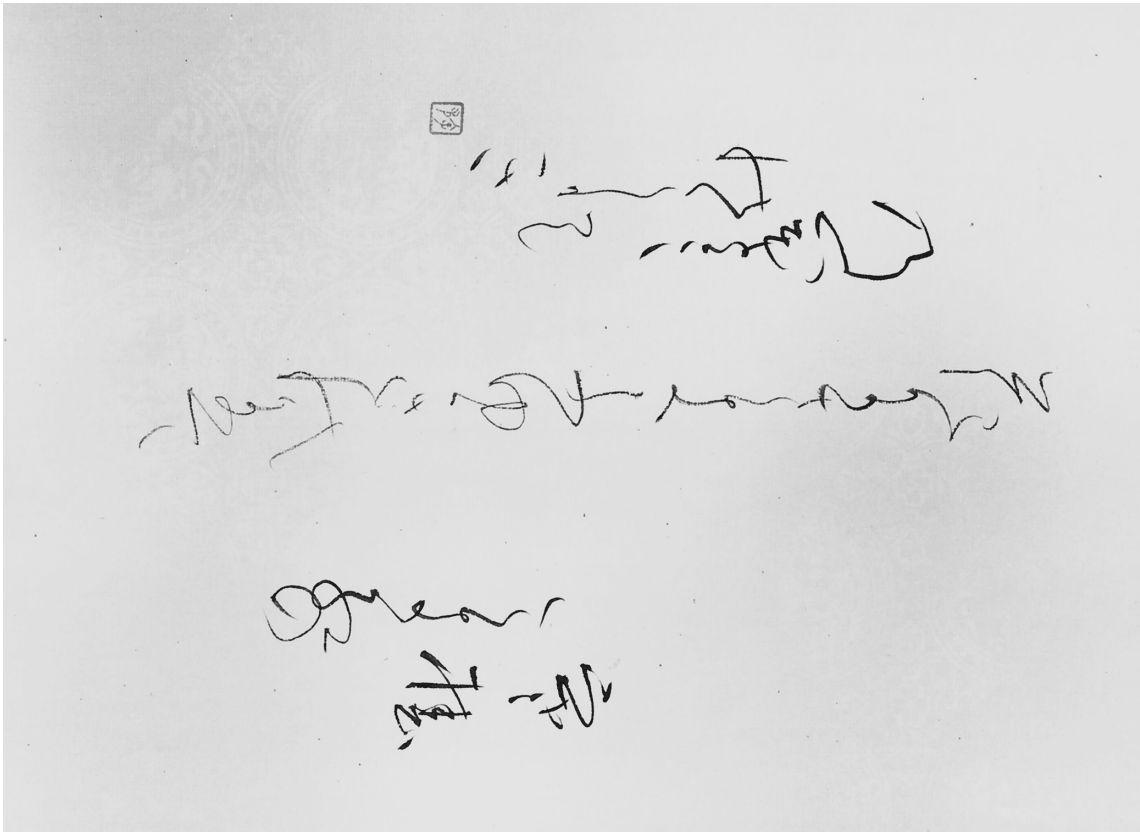
新入から1級まで



浅井 機山先生書

準初段から師範まで

■ 画課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。



寒椿こき紅の花にぞき
冬木の庭の瞳のごとき

〔出典〕 窪田空穂

〔歌意〕 寒椿の濃い紅の色がいままさに花と開いて、冬木の庭の、そこ

ばかりが明るい瞳を点したようであることよ。

〔出典〕 川端茅舎

〔句意〕 朝露にびっしり濡れた野原に、秋空は高く、まるで鏡のように
に明るい。色彩対照の美しい句。

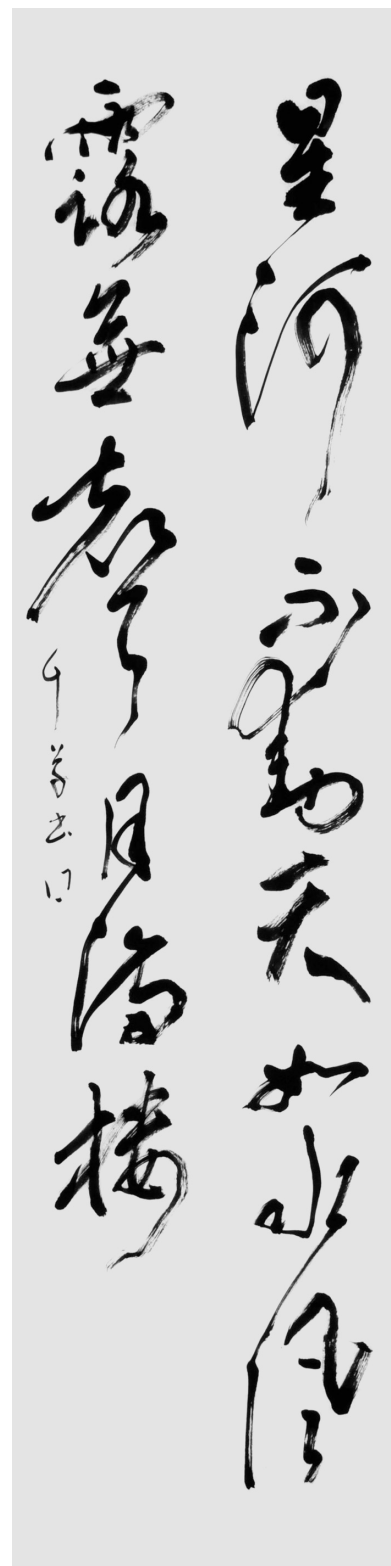
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題

締切り 十月二十四日(必着)

半切(一三六cm×三五cm)

新井清泉書



星河不動天如水
風露無聲月滿樓
陳安

〔大意〕 天空は水の如く澄んで天の川は動かず、そよ風に音もなく露おちて、月光は高樓に満ちている。

初出品の方へ
支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

〔条幅解説〕 創作への展開(角川書道字典より)

〔古典字例〕



拙宅落成の折にはご自筆の色紙を
いただき心から感謝申し上げます
早速リビングに飾り拝見する度に
気持ちが安らぐのを覚えます

(ご自分の氏名)

・印で墨つぎしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

■ 新入から師範まで、どなたでも出書できます。

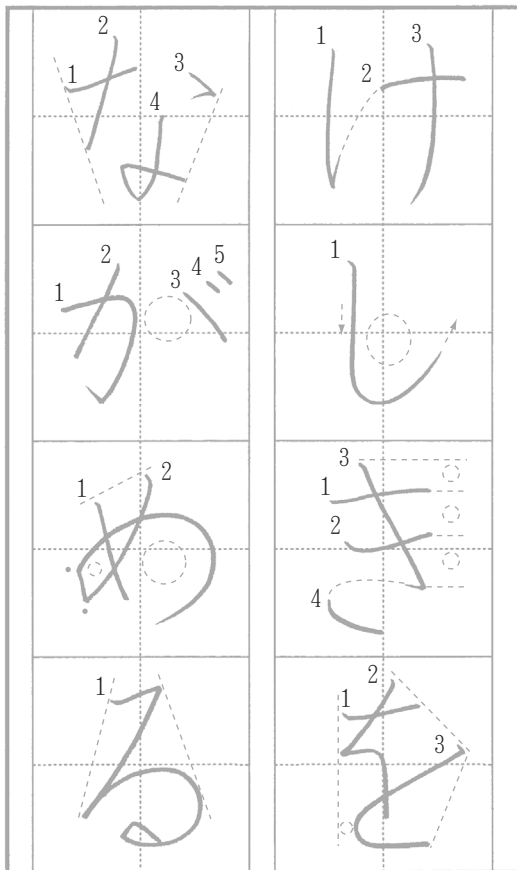
■ 成績(天位〜5等)は、評価により毎月変わります。

■ 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

半紙(334mm×240mm)

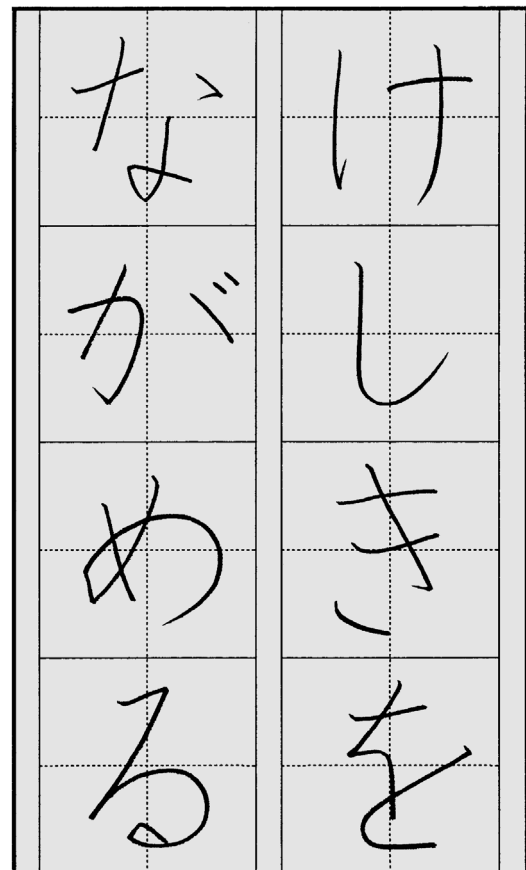
おお みや しゅん ちょう 書
大 宮 春 兆

〈ようぐ〉自由(黒色にかざる)



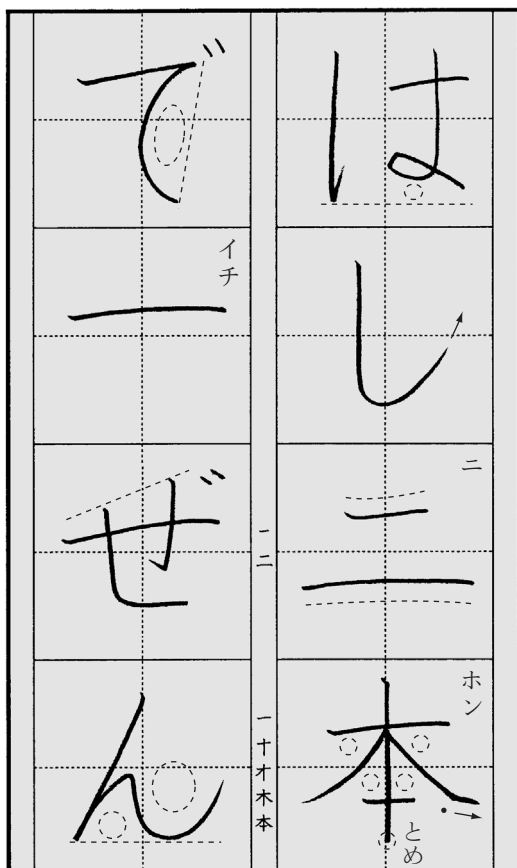
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



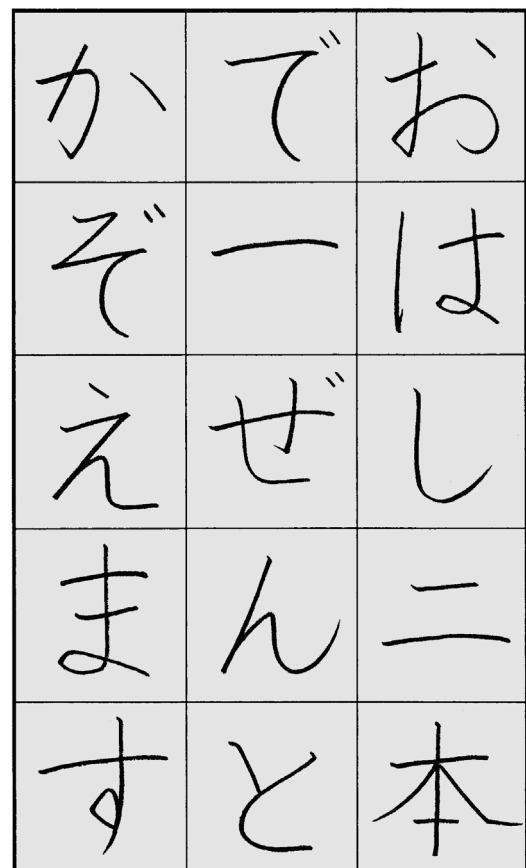
よ
う
年

小三年まで
三宅容玉書



新入1級

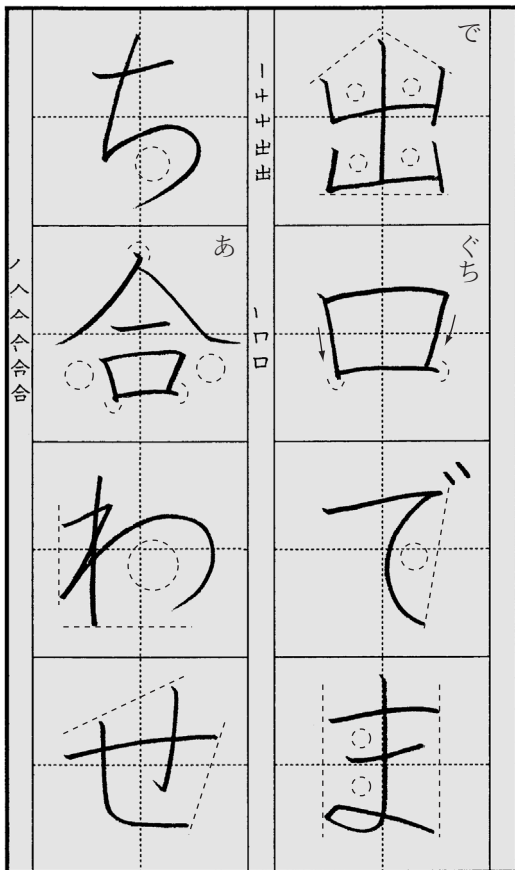
(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかざる)



新入1級



小二年

準初段以上



新入1級



小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈用具〉自由(黒色に限る)

絵	航
は	空
が	便
き	で

新入1級

き	し	航
が	い	空
来	絵	便
た	は	で
よ	が	美

小四年

準初段以上

野	祖
菜	父
豊	畑
作	秋

解説(よく見て習いましょう)

野	今	祖
菜	年	父
が	も	の
豊	秋	畑
作	の	は

小五年

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

小四以上 尾郷翠光書

〈ようぐ〉自由(黒色に限る)

ハナ 飼 飼	シ	ヨク
イ 育 育	イク	シュウ
トウ	トウ	わたくし
バン	バン	ハン

解説(よく見て習いましょう)

の	班	翌
飼	が	週
育	ウ	は
当	サ	私
番	ギ	の

小 六 年

(全員)

◎お手本は、15マスはつけペン、8マスはデスクペンで書きました。

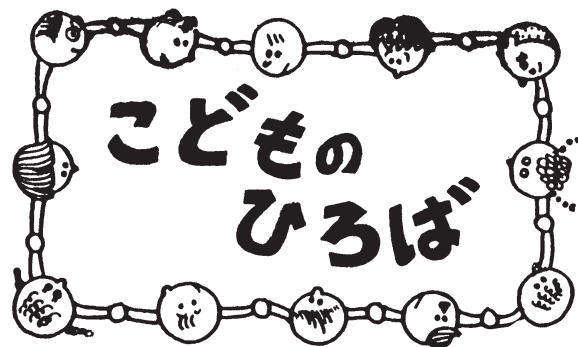
継	伝	兄
セ	が	が
ハ	実	走
ま	況	る
す	中	駅

中二・三年 (行書)

記	セ	学
念	れ	校
日	百	が
で	年	創
す	の	立

中 一 年 (行書)

▼小三年以下の課題 はやし 林 せい 成 か 香 書



しめきり 10月24日(必着)

習っていない漢字は、
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 ふる 古 かわ 川 きょう 京 か 佳 書

秋 空 に 響 く	大 歡 声 が	見 事 に 決 ま り	組 体 操 の 大 技 が	猛 練 習 し た
-----------------------	------------------	----------------------------	---------------------------------	-----------------------

◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 一、四行用紙に書く場合は、文章を収まりよく短くして下さい。
- 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。

※二人一単語としてこのように読みます。

◎お手本はえんぴつ使用

か わ い い な	す や す や ね 顔	ば か り の 妹 二 人	う ま れ た	八 月 に
-----------------------	----------------------------	---------------------------------	------------------	-------------



幼年／小二年
玉樹小華書



小五
野秋
菜の

馬し
小三
ま

秋 ま
野 馬
菜 絵

予の中心
点の方向に注意
会の中心
イトヘンは幅をそろえる

小四
か絵
き は

小三、小五年
水野の香竹書

中二・三

中実 継況

小六

当飼 番育

小六・中二・三年

奥村暢之書

念

況

継

飼

番

創

中一

記創 念立

・行書では気脈や線の連続を覚えよう。